



Title	みんなで話そう、食の安全・安心：BSE 全頭検査をどうするか
Issue Date	2011-10-15
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/49877
Type	lecture
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	討論後アンケート (T3) .pdf



[Instructions for use](#)

北海道大学 BSE 問題に関する討論型世論調査実行委員会
討論後アンケート調査(2011年11月5日)

みんなで話そう、食の安全・安心 ～BSE 全頭検査をどうするか～

このたびはアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。

ご回答いただいた内容は統計的に処理し、数値としてまとめますので、あなた様の回答内容やお名前が外部に公表されることは一切ありません。

午前中にご協力いただいた内容とほぼ同じですが、2回のグループ討論と全体会を終えた、現時点でのあなた様のお考えを再度ご回答ください。

<回答記入に関して>

1. このページも含め、計10ページあります。落丁がある場合はお知らせください。
2. 氏名・住所・電話番号などを記入する必要はありません。
3. ご自身のお考えでご回答ください。ほかの人に聞いたり、調べ物をしたりして答える必要はありません。
4. 一度答えた質問に戻ることなく、順番通りにご回答ください。

次のページから質問が始まります

Q1～Q4は
省略しました。

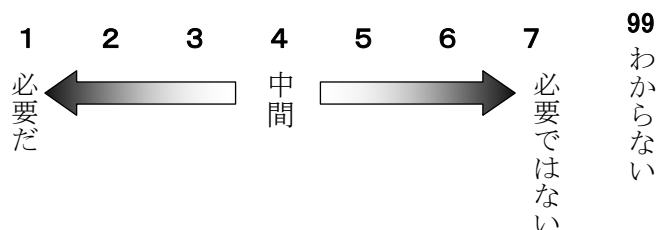
Q5から
ご回答ください。

Q5. 牛肉に関する以下の事柄で、特に関心のあるものはどれですか。以下から選んでください(3つ以内)。

1. 牛の産地
2. 牛の品種
3. 牛の血統
4. 牛のエサ
5. 牛に投入される抗生物質やホルモン剤
6. BSE (いわゆる狂牛病)
7. 有機飼育
8. O157などの病原性大腸菌
9. と畜(食肉用の家畜を殺すこと)する場所の衛生状態
10. 放射能
11. その他(記入欄→) _____
12. 特に関心はない

※以下では、BSE についての政策に関してお尋ねします。

Q6. 食肉用にと畜される全ての牛を対象とする「BSE 全頭検査」は必要だと思いますか。必要があると強く思う場合は1、必要がないと強く思う場合は7、ちょうど中間は4として、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。



Q7. 国内における BSE 検査の対象が次のようになったとしたら、国産の牛肉に対するあなたの安心感はどうなりますか。それぞれ1つだけ選んでください。

・BSE 検査対象が、政府の方針通り「21か月齢以上のと畜されるすべての牛」となったとしたら、安心感は

1. 大きく増加する
2. やや増加する
3. 変化しない
4. やや減少する
5. 大きく減少する
99. なんともいえない

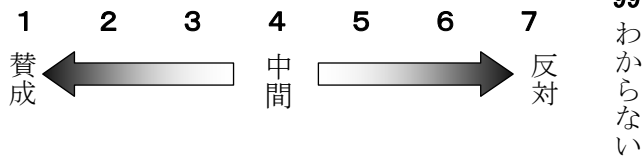
次のページのQ7の続きに進んでください

・BSE 検査対象が、EU 主要国と同様に「48か月齢以上の牛」となるとしたら、安心感は

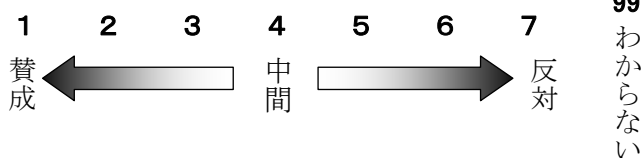
1. 大きく増加する
 2. やや増加する
 3. 変化しない
 4. やや減少する
 5. 大きく減少する
99. なんともいえない

Q8. 現在の状況のなかで、北海道での BSE 検査はどのようにあるべきだと思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

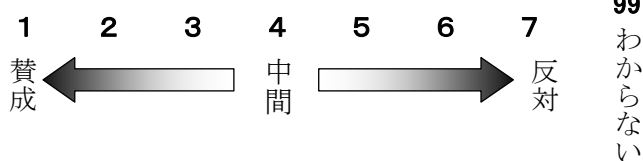
・北海道では、月齢に関わらずすべての牛を対象に BSE 検査を行う(全頭検査を続ける)



・北海道では、21か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(政府の基準に合わせる)

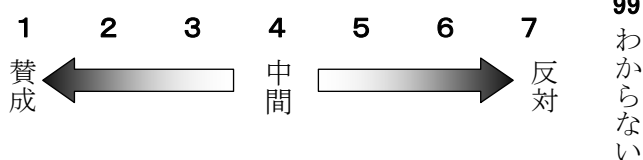


・北海道では、48か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(EU 主要国の基準に合わせる)

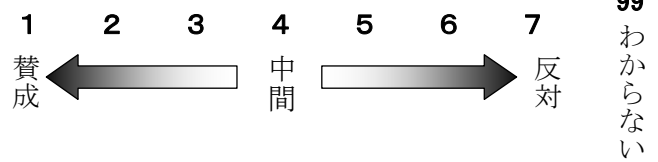


Q9. 将来、日本が BSE 清浄国(国際機関によって「BSE の危険性が無視できる」と認められた国)になった場合、北海道での BSE 検査はどうするべきだと思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

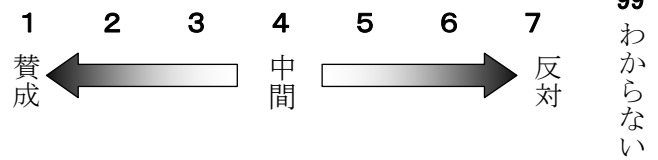
・北海道では、月齢に関わらずすべての牛を対象に BSE 検査を行う(全頭検査を続ける)



・北海道では、21か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(政府の基準に合わせる)

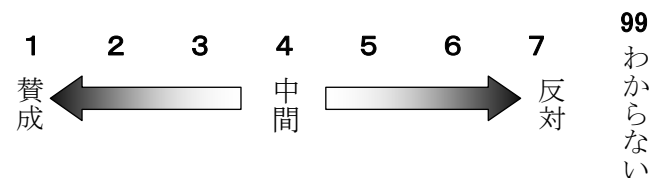


・北海道では、48か月齢以上のすべての牛を対象に BSE 検査を行う(EU 主要国の基準に合わせる)

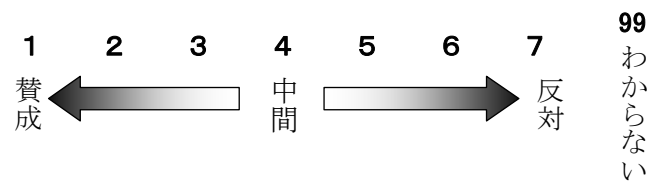


Q10. BSE 対策に関する次のような意見についてどう思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

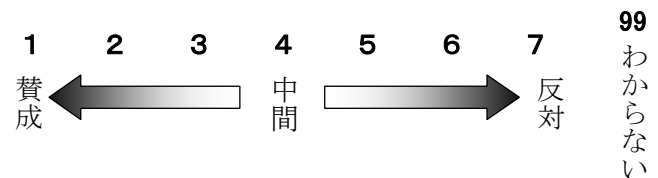
「BSE 対策としては、肉骨粉を牛に与えない、特定危険部位を取り除くという2つの対策で十分である」



「BSE 全頭検査の必要性を判断する際には、『ある月齢よりも若い牛については BSE を検出できない可能性が高い』ということを考慮すべきである」



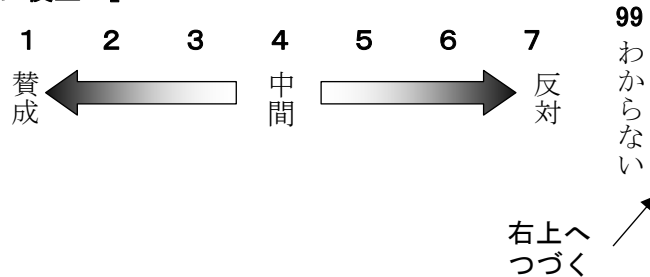
「すべての月齢の牛を対象とした BSE 全頭検査は、効果の割に費用がかかりすぎる」



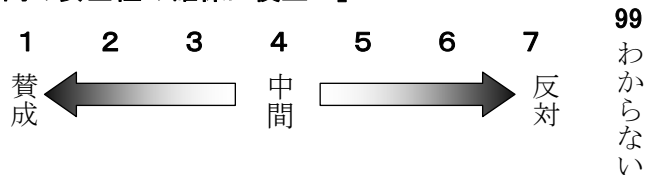
次のページのQ11に進んでください

Q11. 北海道での BSE 全頭検査に関する次のような意見についてどう思いますか。次の3つの考え方それぞれについて、お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

「北海道での BSE 全頭検査は北海道のブランドイメージに役立つ」



「北海道での BSE 全頭検査は道民の食べる北海道産牛肉の安全性の確保に役立つ」



「他の都府県が BSE 全頭検査を続けるかぎり北海道での全頭検査を続けるべきだ」



※以下の質問は「選択実験」という、統計分析をおこなうための質問であり、経済学、マーケティング、交通工学などの分野で広く用いられている方法です。同じような質問が繰り返され、奇妙に思われるかもしれませんが、それぞれについてご判断をお願いします。

Q12. スーパーマーケットに「切り落とし」の牛肉を買いに行ったら、以下の3種類が売られていたとします。見た目はどれも変わらないとしたら、この中でどれを買いますか。それぞれ1つだけ選んでください。ただし国産牛肉については、放射性セシウムの検査は適切に行われているものとします。

(1)

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも買わない	わからない
100gあたりの価格	258 円	118 円	118 円		

(2) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも買わない	わからない
100gあたりの価格	178 円	148 円	118 円		

(3) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも買わない	わからない
100gあたりの価格	258 円	118 円	148 円		

次のページのQ12の続きに進んでください

(4) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも 買わない	わから ない
100gあたりの価格	218円	88円	178円		

(5) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも 買わない	わから ない
100gあたりの価格	218円	178円	148円		

(6) それでは、次の場合はどれを買いますか。

1つにマル →

	1.	2.	3.	4.	99.
産地	日本(国産)	アメリカ産	オーストラリア産	どれも 買わない	わから ない
100gあたりの価格	298円	88円	88円		

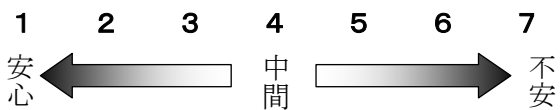
Q13. 現状において、各国で生産された牛肉の BSE 感染に関してどのように感じていますか。お考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

・国産牛の BSE 感染



99
わから
ない

・アメリカ産牛の BSE 感染



99
わから
ない

・オーストラリア産牛の BSE 感染



99
わから
ない

Q14. 以下にあげる「BSE を原因とする人の病気を防ぐための対策」は、日本国内できちんと実施されていると思いますか。それぞれ1つだけ選んでください。

・対策: 肉骨粉を牛に与えない

- 1. きちんと実施されている
- 2. ある程度実施されている
- 3. あまり実施されていない
- 4. 実施されていない
- 99. わからない

・対策: 特定危険部位を取り除く

- 1. きちんと実施されている
- 2. ある程度実施されている
- 3. あまり実施されていない
- 4. 実施されていない
- 99. わからない

・対策: BSE 全頭検査

- 1. きちんと実施されている
- 2. ある程度実施されている
- 3. あまり実施されていない
- 4. 実施されていない
- 99. わからない

次のページのQ15に進んでください

Q15. 国産食品と輸入食品の安全性について、どのよう
に感じていますか。

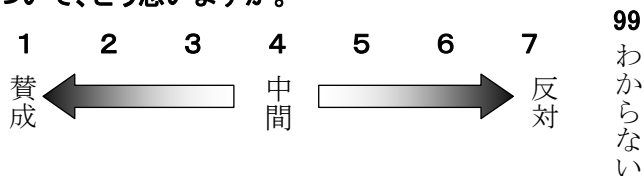
・国産食品について



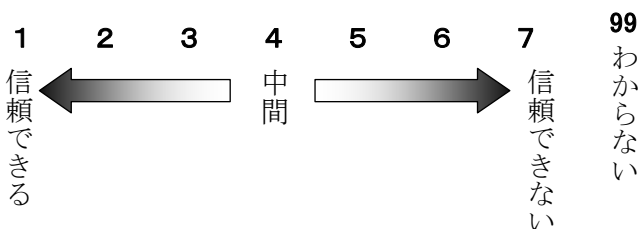
・輸入食品について



Q16. BSE に限らず、食品全般についてお尋ねします。
「食品は 100%安全でなければならない」という考え方に
ついて、どう思いますか。

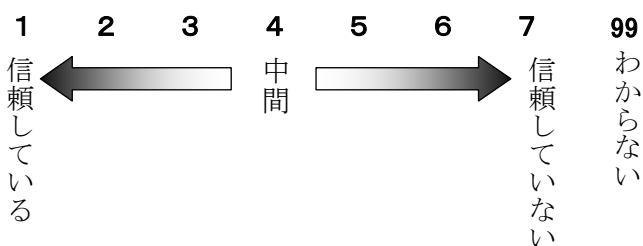


Q17. 食の安全に関する専門家の意見は、信頼できると
思いますか。

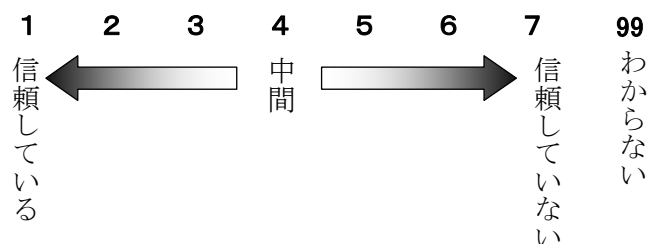


Q18. 食の安全・安心に関する国(政府)や北海道(道
庁)の取り組みについて、どの程度信頼していますか。お
考えに近いと思う番号にマルをつけてください。

・国の取り組み



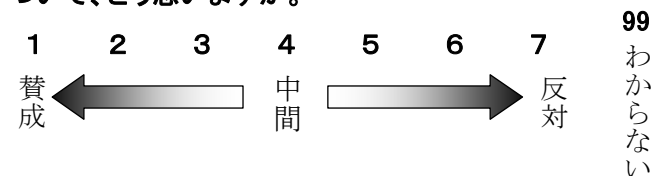
・北海道の取り組み



Q19. BSE や食品に限らず、もっと一般的にお尋ねしま
す。国や自治体の政策を決めるときに、専門家の意見と
市民の感覚が異なる場合、どちらを優先すべきだと思
いますか。1つだけ選んでください。

1. 専門家
2. 市民
3. おなじくらい
99. わからない

Q20. 「素人である一般市民は、科学技術などの専門的
な問題については口出しすべきではない」という考え方に
ついて、どう思いますか。



※以下の Q21から Q27の質問はクイズ形式になってい
ます。正解を調べずにお答えください。

Q21. 日本において、食品のリスク評価を主に担当して
いる国の機関は、次のどれだと思いますか。1つだけ選
んでください。

1. 農林水産省
2. 薬事・食品衛生審議会
3. 食品安全委員会
4. 消費者庁
99. わからない

次のページのQ22に進んでください

Q22. 日本で BSE 感染牛が初めて見つかったのはいつだと思いますか。

1. 3年前
 2. 5年前
 3. 10年前
 4. 20年前
 5. 30年以上前
99. わからない

Q23. 日本人で、BSE が原因と思われる vCJD (変異型クロイツフェルト・ヤコブ病) への感染が確認された人は、何人いると思いますか。

1. 0人 (いない)
 2. 1~10人
 3. 11~99人
 4. 100人以上
99. わからない

Q24. 以下の国の中で、BSE 感染が確認された牛が最も多いのは、どの国だと思いますか。

1. 日本
 2. アメリカ
 3. オーストラリア
99. わからない

Q25. 牛の特定危険部位にあてはまらないのは、次のどれだと思いますか。あてはまらないものをすべて選んでください。

- | | | | |
|---------------------------|------|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 脳 | 2. 胃 | 3. 脊髄 <small>せきずい</small> | 4. 眼 |
| 5. 扁桃 <small>へんとう</small> | 6. 舌 | 7. 脊柱 <small>せきちゅう</small> | 8. 回腸遠位部 <small>かいちょうえんいぶ</small> |

99. わからない

Q26. これまでに日本で BSE の感染が確認された牛のほとんどは、次のどの月齢の牛だと思いますか。

1. 10か月齢まで
 2. 11~20か月齢
 3. 21~30か月齢
 4. 31~40か月齢
 5. 41か月齢以上
99. わからない

Q27. 牛が BSE に感染しないようにするために、日本ではどのような対策がとられていると思いますか。1つだけ選んでください。

1. ワクチン接種による予防
 2. 感染牛に対する治療
 3. 肉骨粉の使用禁止
 4. BSE 全頭検査
 5. 特定危険部位の除去
 6. BSE 発生国からの牛肉輸入制限
 7. 対策は発見されていない
99. わからない

※最後に、ご回答くださった方についてお尋ねします。

Q28. あなたの性別は。

1. 男性
2. 女性

Q29. あなたの年代は。

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60代
6. 70代
7. 80歳以上

Q30~Q32は省略しました。
Q33からご回答ください。

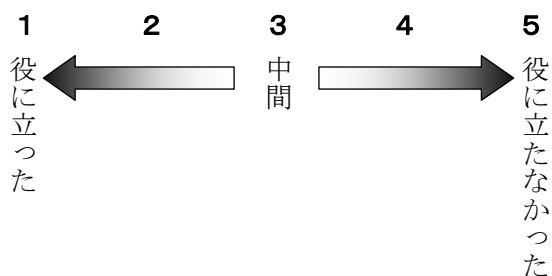
Q33. 本日の討論フォーラムへ参加することを決めたい
ちばん大きな理由はなんですか。

1. 北海道 (道庁) の政策に反映される可能性を期待するから
2. 食の安全・安心に関心があったから
3. BSE 問題に関心があったから
4. 討論型世論調査という手法に関心があったから
5. 自分の意見を言うことや、他人の意見を聞くことに興味があったから
6. 謝金が支払われるから
7. その他 (記入欄→) _____

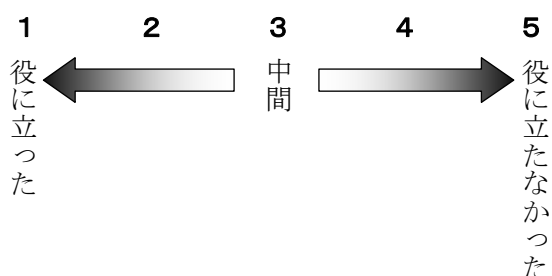
次のページのQ34に進んでください

Q34. あなた自身の考えをまとめるにあたって、次の項目は役に立ちましたか。

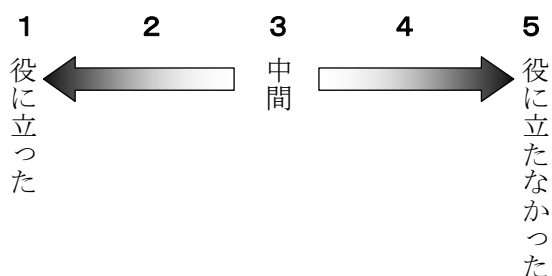
・郵送でお送りした情報冊子



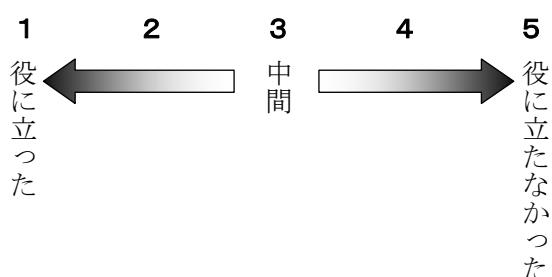
・開会式で上映された映像資料



・各教室でのグループ討論



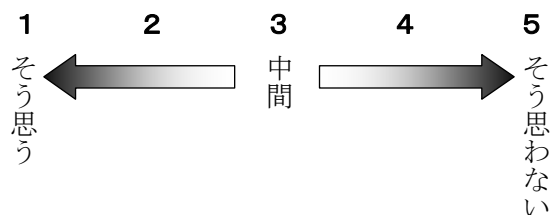
・全体会での専門家との質疑応答



Q35. 本日の討論に参加するまでに、郵送でお送りした情報冊子をご覧になりましたか。

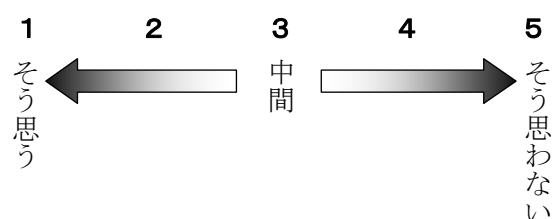
1. 全部読み、さらに自分で興味のある部分を調べた
2. 全部読んだ
3. 半分くらい読んだ
4. ほとんど読んでいない
5. まったく読んでいない

Q36. 郵送でお送りした情報冊子は中立的な立場で作られていましたか。

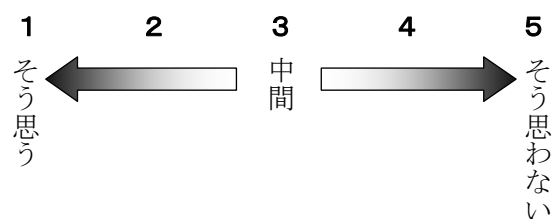


Q37. グループ討論の内容や進行について、あなたはどのように感じましたか。

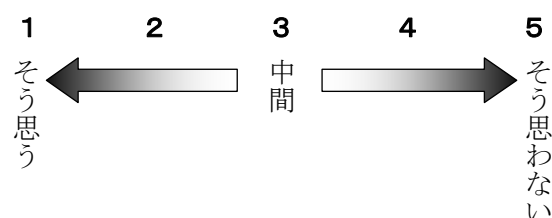
・話し合うべき内容を話し合うことができた



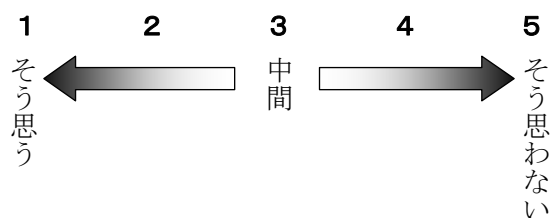
・他の参加者の意見が参考になった



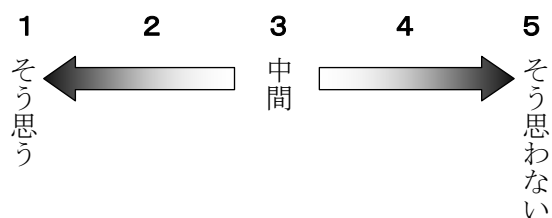
・一部の参加者が長時間話し続けることなく、参加者全員が討論に参加できた



・グループ討論のモデレーターは、全員が討論に参加できるような機会を適切につくっていた

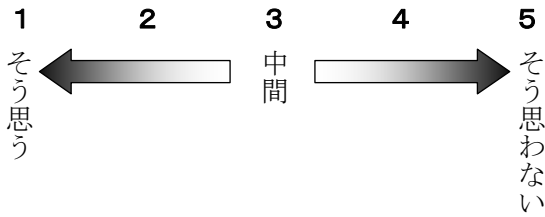


・モデレーターが、自分の意見を示すことはなかった



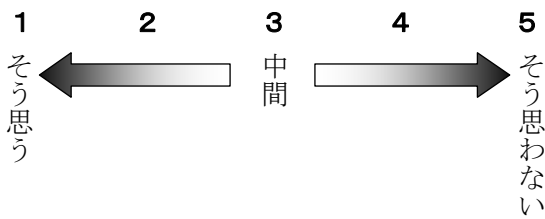
次のページのQ37の続きに進んでください

・見学者が、表情や身振りなどで、自分の意見を示すことはなかった

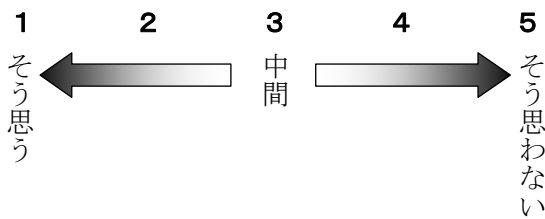


Q38. 全体会の内容や進行について、あなたはどのように感じましたか。

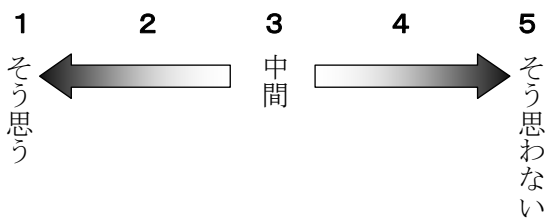
・回答した専門家の人選は適切だった



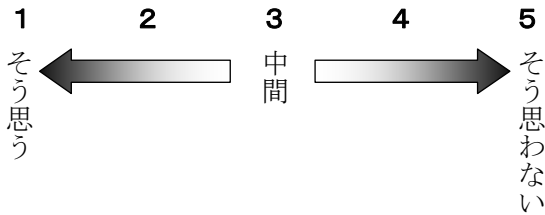
・回答した専門家は、質問に対して適切な回答をしていた



・司会者が適切に議論を整理していた



・他のグループの質問の論点に興味があった



Q39. ここ数週間のあいだに、BSE問題に関する報道に接しましたか。以下のうち、当てはまるものをすべてにマルをつけ、わかる範囲で新聞や番組の名称などを教えてください。

1. 新聞の記事や社説を読んだ
→新聞名： _____
2. テレビでニュースなどをみた
→番組名： _____
3. インターネットでみた
→具体的には： _____
4. その他の報道に接した
→具体的には： _____
5. 報道に接していない
99. 覚えていない

Q40. あなたは企業や行政のモニター調査などに登録していますか。

1. 現在登録している
2. 以前に登録していたことがある
3. 登録したことがない
99. わからない

Q41. あなたは、以下の団体が主催するイベントにここ1年間で参加したことがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。

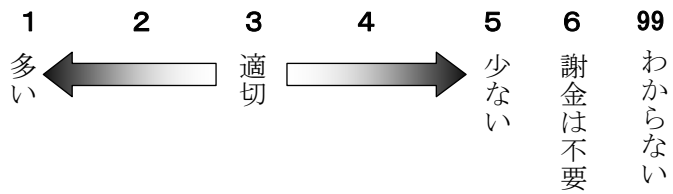
1. 国や地方公共団体
2. 町内会等の地域団体
3. 大学などの研究機関
4. 消費者団体
5. NPO など
6. その他 (記入欄→) _____
7. どれにも参加していない
99. わからない

Q42. あなたは選挙に行きますか。

1. 必ず行く
2. ほとんど行く
3. 半分くらいの割合で行く
4. ほとんど行かない
5. まったく行かない

次のページのQ43に進んでください

Q43. 今回の謝金(1万円)について、どうお感じになりますか。



質問は以上です。

本日は長い間アンケートや討論にご参加いただき、
どうもありがとうございました。